

第五十九回帝國議會
衆議院

勞働者災害扶助法案外二件委員會會議錄(速)第三回

付託議案
勞働者災害扶助法案(政府提出)
勞働者災害扶助責任保險法案(政府提出)
勞働者災害扶助責任保險特別會計法案(政府提出)

會議

昭和六年三月十三日(金曜日)午前十時
四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 山邊 常重君

理事 竹田 儀一君

理事 坂東幸太郎君

理事 崎山 武夫君

理事 村上紋四郎君

栗山資四郎君 眞鍋 儀十君

佐藤 與一君 氏家 清君

安藤 正純君 牧野 良三君

西尾 末廣君 原 惣兵衛君

同日委員板谷順助君辭任ニ付其ノ補闕

トシテ東條貞君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十二日理事伊禮肇君委員辭任ニ付

其ノ補闕トシテ竹田儀一君理事ニ當選

セリ

出席政府委員左ノ如シ

內務政務次官 齋藤 隆夫君

社會局長官 吉田 茂君

社會局部長 富田愛次郎君

司法省刑事局長 泉二 新熊君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

勞働者災害扶助法案(政府提出)

勞働者災害扶助責任保險法案(政府提出)

勞働者災害扶助責任保險特別會計法案(政府提出)

○山邊委員長 前回ニ引續キ會議ヲ開キマス

○坂東委員 本委員會ノ理事ノ一人デ

アッタ委員伊禮肇君ガ辭任サレマシ

タ、就テハ理事一名ヲ委員長ノ指名ニ

依ッテ補闕セラレンコトヲ望ミマス

○山邊委員長 坂東君ノ動議ニ御異議

アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○山邊委員長 ソレデハ私カラ指名致

シマス、竹田儀一君ニ御願致シマス

通告順ニ依ッテ質問ヲ御許致シマス、崎

山君

○崎山委員 此法案ノ施行期限ガ昭和

七年一月一日ト云フコトニナッテ居リ

マスガ、此來年一月一日マデニ著手ノ

準備ガ整フ見込ガアリマスカ御伺致シ

マス

○吉田政府委員 本年內ニ準備ヲ整ヒ

得ル見込デアリマス

○崎山委員 事業主等ニ於テ是等ノ問

題ヲ能ク徹底シタ所ノ理解ヲシテ居ル

者モ澤山アルト思ヒマスガ、又分ラヌ

者モ大分アルト思ヒマス、ソレ等ニ對シテモ、十分之ヲ理解スルヤウナ方法

ガ、本年內ニ執リ得ラル、御考ニナッ

テ居リマスカ、又今日ノヤウナ不景氣

ノ際デアリマスカラ、成ベク是等ニ對

スル各種ノ費用ヲ負フコトニ付テハ、

事業主ハ非常ニ困難ヲ感ズルコト、思

ヒマスガ、尙且是等ニ對シテ、決シテ

期限ヲ遅ラスコトノ無イヤウニ、實行

シ得ラル、ト思ッテ居ルデアリマス

カ

○吉田政府委員 本法案ノ骨子ニ付キ

マシテハ、豫メ主ナル事業主團體ノ意

見ヲ尋ネル爲ニ詰問ヲ致シテアリマ

ス、尤モ諮問ヲ致シマシタ事項ハ、本

法案ニ決メル事柄バカリデナク、勅令

ヲ決メル大體ノコトモ併セテ意見ガア

リ、先方カラモ提出ニナッテ居ラレル

シ、尙ホ本法ノ施行ノ圓滑ヲ期シマス

ル爲ニ、施行勅令ニ付キマシテモ、主

要ナル問題ニ付テハ、主要ナル事業主

團體ノ意見ヲ聽クコトニ豫定致シテ居

リマス、隨テ本法ノ施行上必要ナ知識

ヲ豫メ事業主ニ習得シテ貰フト云フコ

トニ付キマシテハ、十分ニ連絡ヲ取り

得ルト思ッテ居リマス、年內一バイ掛リマシタナラバ、ソレ等ノ總テノ準備ヲ終リマシテ、明年一月一日カラ施行スルニ十分間ニ合フ積リデアリマス、尙

又現在ノ產業不況ノ際ニ關聯シテ、本

法施行上困難ヲ感ジハシナイカト云フ

御尋デアリマスガ、無論多少ソレ等ノ

影響ハ受ケルコトト思ヒマスガ、併ナ

ガラ法案ニ付テ御覽ニナル通り、不景

氣デアリマシテモ、仕事ヲ致ス者ニ限

リマシテ、保障ト云フコトガ起ッテ來

ルデアリマスシ、殊ニ今回ハ保險ノ

制度ヲ取入レマシタノデ、例ヘバ土木

建築事業ニ於キマシテ、或規模ノ仕事

ヲ引受ケル、サウシタナラバ保險ニ加

入ラスル、加入ラスルニ付キマシテ

ハ、保險料ノ支出ト云フモノヲ豫メ見

越シマシテ、見積リヲスルコトガ出來

ルデアリマスカラ、仕事ノ無イ人

ハ、隨テ此法律ニ依ッテ保障スル機會

モ無イデアリマス、全然不景氣ノ爲

ニ事業主ガ困ラヌトハ申上ゲマセヌ

ガ、ハ仕事ヲ引受ケテ、サウシテ勞働

者ヲ使ッテ居ル人々ニ對スル保障

ノ責任、扶助ノ責任ト云フモノヲ規定

シテ居リマスカラ、其點稍、考ヘ易イ

モノト思フデアリマス、尙ホ事業主

ニ於テハ諸種ノ準備ナリ、或ハ今マデノヤリ掛リノ仕事等ニ付キマシテ、成ベクナラバ施行期限ヲユックリスルヤウニシテ貰ヒタイト云フ希望ガ、一部

ニアリマシタコトモ聞及ンデ居リマスガ、是モ來年一月一日カラト云フコトデアリマシタナラバ、ソレ等ノ人々モ左程困ラズニ、此法律ノ要求ニ應ジ得ルト思ヒマス、旁、以テ明年一月一日ヲ施行期日ニ致シマシタコトハ、決シテ無理ハナイト考ヘテ居リマス

○**崎山委員** 之ニ對シテ少シモ延期スルト云フヤウナ御意思ハナイノデアリマス

○**吉田政府委員** サウ云フ考ハ持ッテ居リマセス

○**崎山委員** 此腹案ヲ拜見致シマス、一定ノ規模ガ此處ニ掲ゲラレテアリマスガ、此規模以下ノ事業ニ對シテハ適用シナイト云フヤウニナッテ居リマスガ、若シ此一定ノ規模、即チ一萬圓トカ、或ハ千人トカト云フモノガ、事業主ニ於テ若シ仕事ヲ分割シテ、規模以下ニ引下ゲテ仕事ヲシタ場合ニ於テハ、ドウ云フ風ニ取扱フ御積リデアリマスガ、譬ヘテ申シマスナラバ、建築ヲヤル場合ニ、基礎工事ハ基礎工事、建物ハ建物、裝飾ハ裝飾ト云フ風ニ別々ニヤリマスレバ、一萬圓ノモノトスレバ、其一萬圓ヲ三ツニ分割スルコトガ出來ル、サウ云フ場合ニハ、此適用ヲ免レルコトガ出來ル、サウ云フモノニ對シテハ、ドウ云フ方法ヲ取ラ

レマスカ

○**吉田政府委員** 只今ノ御話ノヤウナ例ハ、實際工事ノ場合ニモアルノデアリマスガ、基礎工事ヲ先ヅ第一ニ請負マシテ、基礎工事ダケヲ或人ガヤル、其次ニハ上ノ構造工事ヤル、ソレカラ仕上工事ヤル、ソレハ斯ウ云フ工事ガ分別セラレテ居リマスルナラバ、其工事ノ一ツ々々ニ付キマシテ、此規模ニ對スル規定ヲ適用スルノデアリマス

○**崎山委員** サウスルト結局規模以下デヤッテ居ルト、其適用ヲ免レ得ルモノデアリマスガ、其儘デ差支ナイトシテヤッタ場合、同時ニ直營工事ニ對シテハ、ドウ云フ御取扱ヲ致スノデアリマス

○**富田政府委員** 前ニ御指摘ニナリマシタ、一ツノ契約ヲ基礎トスルノデアリマスカラ、箇々別々ニ契約ガアリマシタ場合ニハ、只今御答致シマシタヤウニ、一ツ々々トシテ本法ヲ適用スルノデアリマス

○**崎山委員** 鐵道省ナラ鐵道省ガ直接工事ヤスル場合ニ於テ、適用ガアルノデアリマス

○**富田政府委員** 直營工事ニハ無論適用ガアルノデアリマス

○**崎山委員** サウスルト官廳ヲ企業家ト看做シテ取扱フノデアリマス

○**富田政府委員** 第一條ノ第二項ニ

ハ、明カニ「國道府縣、市町村又ハ勅令ヲ以テ指定スル公共團體ノ直營工事」ト云フコトヲ書イテアルノデ、國、公共團體ノ直營工事ニハ、當然本法ノ適用ガアルノデアリマス

○**崎山委員** 其點ハソレデ宜シウゴザイマス、次ニ負傷又ハ疾病ノ極メテ輕イモノ、即チ輕症ナルモノハ、保險デ扶助サレルカドウカ、其點モ一ツ伺ヒタイ、同時ニ又輕症ノ場合直接扶助スルトスレバ、輕症ト云フ程度ヲドノ程度デ御止メニナリマスガ、是等ノ範圍ヲ先ヅ伺ヒタイト思ヒマス

○**富田政府委員** 本法ノ保險ニ致シマスル趣旨ハ、成ベク危險ヲ分散シテ、サウシテ扶助ヲ確保シヨウト云フコトデアリマス、隨テ保險事項ノ小サイヤウナモノハ、直接ニ元請若クハ特別ナル契約ノアル下請ニ支拂ハセル積リデアリマシテ、保險ト致シマス只今ノ豫定ハ、御手許ニ差上ゲテアルカト思ヒマスガ、二週間以上ノ傷害ノ重イモノ、ソレカラ傷害扶助料デアリマストカ、遺族扶助料デアリマストカ、斯ウ云フ相當大キナルモノニ付テ保險ヲスル積リデアリマシテ、二週間以下ノ療養費ト云フヤウナ、小サイ傷害ニ付キマシテハ、事業主ガ直接勞働者ニ支拂ッテ、保險ノ目的トハ致サナイノデアリマス

○**崎山委員** 若シ二週間以内トシマスレバ、大部分ハ其保險ノ恩惠ニ浴シナイコトニナルノデアリマス、責任保險法ノ效果ガ、サウナルト結局非常ニ少イト云フコトニナッテ來マス、之ヲ一週間以内ト云フコトニシテ、サウシテ成ベク其效果ヲ多カラシムルヤウニ爲サル所ノ意思ハナイカ、ドウカト云フコトト、同時ニ又一週間又ハ二週間後ノ治療ヲ保險ニテ扶助スルトキハ、其以前ニ遡ッテヤラナイト云フコトニナッテ居リマスガ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、大キナル傷害デモ若シ受ケテ、ソレヲ治療スル所ノ費用等ガナイ爲ニ、姑息ナ治療ヲシテ、遂ニ不具者トナルヤウナ場合モアル譯デアリマスカラ、サウ云フモノニ對シテハ、ドウ云フ風ナ方法ヲ執ッテ行カレルカ、若シ又サウ云フ大キナ負傷ニ對シテハ、假令二週間以内デアッテモ、之ヲヤルト云フヤウナ御意思ハナイカドウカ、一ツ伺ヒタイ

○**吉田政府委員** 此扶助致シマスル範圍ヲ、二週間以上ノ休業扶助料及ビ療養費ト云フ點ニ、只今豫定シテ居ルノデアリマスガ、當業者方面ニ於テモ、其期限ニ對シテ、若干短縮シテ貰ヘナイカト云フ希望ヲ申出テ居ルノデアリマス、當局ト致シマシテハ、大體二週間ヲ超ユルモノト致シテ、事務ノ簡捷

ヲ圖リタイ積リデアリマスガ、併ナガラ當業者カラ只今ノヤウナ希望モアルヤウデアリマスシ、危険分散ト云フ趣旨ヲ達スルニハ、仰セノ如ク期間ガ短イモノモ、保險ニ含メルト云フコトノ方ガ結構ナノデアリマス、其點ハ能ク考慮致シテ置キタイト考ヘマス

○**崎山委員** 其點ハ能ク諒解致シマシタ、災害統計ノ確實ナルモノガ中々ナイノデアツテ、而モ其保險率ノ算定モ甚ダムヅカシイコト、思ヒマスガ、試験的ニ算定スルトシマスレバ、土木建築業者以外ノ工場トカ、鑛山トカ云フモノハ、是ハ大體ニ統計ヲ取レテ居テ、非常ニ樂ナノデアリマスガ、斯ウ云フモノヲ保險ニ入レルト云フト、算定ノ確實ナルモノガ、結局得ラレナイト云フヤウナ感ジガスルノデアリマス、ソコデ工場法トカ或ハ鑛山法ニ依ルモノハ、當分之ヲ除外シテ置イテ、取敢ヘズ此土木工事等ノモノダケヲヤツタノダト云フコトニ付テハ、ドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ

○**富田政府委員** 今吾々ガ考ヘテ居リマスコトハ、土木建築ヲ先以テ強制國營保險ニシテ、其他必要ト認メルモノハ、勅令デ以テ指定スルコトニシテ居リマス、其他ノモノハ任意加入デ、此保險制度ニ入ッテ來テモ、入ラヌデモ、ドチラデモ宜シイト云フ制度ヲ探ッテ

居ルノデアリマス、工場、鑛山ニ付テハ、之ヲ強制加入トスルノデハナイノデアリマス、任意ニ加入シテ來ルノデアリマス、隨テ工場、鑛山ニ付テハ、無論統計モアリマスカラ相當ノ經驗ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、十分調査シテ、順次任意加入ヲ認メル積リデ居リマス、土木建築ヲ強制ニ致シマシタノハ、御承知ノ通りニ土木建築ハ、非常ナ資力ヲ持ッテ居ル請負者モアリマス、又非常ニ薄弱ナ資力ヲ持ッテ居ル者モアリマス、斯ウ云フ關係カラシテ、之ヲ一樣ニ強制保險ニスルト云フコトデナケレバ、容易ニ勞働者ノ扶助ノ確保ト云フキモノガムヅカシイ關係モアリマシテ、強制保險ト致シタノデアリマス、御承知ノヤウニ當業者カラモ切ナル希望モアリマシテ、ソレ等ノ希望モ相當事由アルモノト考ヘマシタ爲ニ、強制保險ニ致シタヤウナ次第デアリマス

○**崎山委員** 強制加入ト任意加入トニツニ分レテ居リマスガ、事務費ト云フモノハ、假令別々ニ之ヲ持ッテ居リマシテモ、結局強制加入ノ方ハ、大體ノ見當ハ付キマスケレドモ、任意加入ノ方ハ、若シ加入者ガ少ナイトスレバ、ヤハリ事務費ト云フモノハ相當額ガ要ルノデアリマス、是ハ結局サウスレバ、強制加入ノ方ガ負擔ヲ將來シナケ

レバナラスト云フヤウナ結果ニナッテ來ルト思ヒマスガ、是等ノ點ニ付テ、ドウ云フ風ニ算定ノ基礎ヲ置イテヤツテ行カウト云フ御考デアリマスカ

○**吉田政府委員** 事務費ニ付キマシテハ、強制加入ノモノモ、任意加入ノモノモ、一本デ事務費ハ扱フノデアリマスノデ、御心配ノ如キ任意加入ノモノガ入ッタ爲ニ——其分量ダケハ事務費ヲ増シマスケレドモ、特ニ其爲ニ入ッタ割合以上ニ、事務費ガ増スデアラウト云フコトハ考ヘナイノデアリマス、尙ホ保險料ノコトニ付テハ、事務費モ保險料其他ノ收入ニ依ッテ支辨セラレマスガ、危険ノ程度ニ依リマシテ、危険統計モ分ッテ居リマスカラ、其邊ノ不公平ハ起ルマイト思ヒマス、尙ホ任意加入ノ事業デ、調査、統計ノ不十分ト認メルガ如キ御心配ノアツタヤウナ、或ハ保險契約ノ申込ガ非常ニ少ナイデアラウト云フヤウナモノハ、差當リ任意加入ヲ開始シナイ積リデアリマス、工場、鑛山等ニ付テモ、調査ノ出來ルニ從ッテドン／＼擴張シテ行ク積リデアリマス

○**崎山委員** 斯ウ云フヤウナ費用ハ、寧ろ勞働能力ノ維持回復ノ爲ニ、國家ガ事務費位ハ負擔シタラ、ドンナモノデアルカト考ヘマスガ、之ニ對シテ國家デ費用ヲ御負擔ニナルヤウナ考ハ、

毛頭御持チニナリマセヌカドウカ

○**吉田政府委員** 國家ト致シマシテハ、豫算デ御承知ニナル通りニ、準備ニ要スル費用ヲ若干持ッコトニナッテ居リマスガ、其以後ニ於キマシテハ、是ハ當業者ノ扶助責任ヲ果スニ付テ、當業者間ニ危険ヲ分散スルト云フ趣意ヲ以テ、保險ヲ開始スルノデアリマスカラ、當業者ノ事務ニ屬スル支拂ニ付キマシテ、其義務者ノ間デ危険ガ分散セラレテ、支拂ニ便宜ナヤウニト云フ趣旨デ、此保險ヲ立テルノデアリマスカラ、其保險ニ付キマシテ、事務費、其他ヲ國家デ負擔スベシト云フ理由ハ、少イト考ヘルノデアリマスノデ、只今考ヘテ居リマスヤウナ、國家ガ負擔セナイト云フ計畫ガ、適當デアラウト思ッテ居リマス

○**崎山委員** 大體其程度デ私ハ質問ヲ打切リタイト思ヒマスガ、同時ニ今戴イテ居ル勞働者災害扶助法ニ基ク負擔推定ト云フモノニ依リマスルト、各工場ニ働ク所ノ一年ノ働キ日數、或ハ事業日數ト云フノガ、大キナ工事ハ三百、小サナ工事ハ二百五十、サウナツテ居リマスガ、是ハ少シ過大ナル見積ノヤウニ考ヘテ居リマスガ、此算定ノ基礎材料ヲ頂戴致シタイト思ヒマス、是ハ今答辯シテ戴カナクテモ、材料ヲ戴ケバ宜シウゴザイマス、一人一日平

均賃銀二圓五十三錢、二圓五十四錢、ト云フ風ニナツテ居リマスガ、ソレ等ノ參考書類ヲ戴キタイト思ヒマス、同時ニ一人當リノ扶助費ト云フノガ三錢幾ラト云フコトニナツテ居リマスガ、是モ參考材料ヲ頂戴シタイト思ヒマス、是デ質問ヲ打切りマス

○原委員 根本問題トシテ御尋シタイコトハ、第五十六議會ノ田中内閣ノ當時ニ本案ヲ出シタノデアリマスガ、其當時ト今度御出シニナツタ法案トガ、内容ガ少シク變テ居ルヤウデアリマスガ、其改正ノ趣旨ハ、形式的ノ點モアリマセウケレドモ、根本ノ方針ハ、田中内閣當時ヨリハ、勞働者本位ノ利益ノ爲ニ制定シタノデアルカ、或ハ事業主本位ノ爲ニ傾イタト云フ傾向デアルカ、田中内閣ノ當時提出シタ法案ト、ドノ點ガドウ云フ趣旨ニ基イテ改正セラレタカト云フ、此事業主ト即チ勞働者トノ保護ノ關係ノ不利益ノ點ハ、ドツチニヨリ利益ニナツテ居リマスガ、其根本ヲ御聽キシタイ

○吉田政府委員 前回出マシタ法案モ、今回提案致シテ居リマスルモノモ、勞働者ノ災害ニ際シテノ保障ヲスルト云フ點ニ最モ力ヲ注ギ、申サバ勞働者本位ノ立法デアル點ハ、少シモ變ラヌト思ヒマス、尤モ前回出マシタ法案ト、今回出マシタ法案ト違ッテ居リ

マスコトハ、事業主トノ間ニ於ケル責任ノ遂行ニ關シマシテ、危險ヲ分散スル趣意ヲ以チマシテ、責任保險ト云フモノヲ開始致スト云フコトニ、今回ノ法案デハナツテ居ルノデゴザイマシテ、是亦事業主モ便利デアルト同時ニ、扶助ヲ受ケマスル勞働者ガ、ソレダケ扶助ノ基礎ガ確立スル、容易ニ扶助ガ受ケラレルト云フ點カラ致シマシテ、ヤハリ結局ハ勞働者ノ利益ニナルコトナシテ、兩回ノ法案ニ於テ、何等異ナル所ハナイト思ヒマス

○原委員 其點ニ付キマシテハ、先ニ行ッテ御尋スルト致シマシテ、此規定ノ細カイ内容ニ付テ、吾々ハ別ニ反對ハアリマセスガ、此第二條ニ於キマシテ「當時其ノ收入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ヲ扶助スベシ」ト云フ此「生計ヲ維持シタル者」ト云フノハ、ドウ云フ範圍マデ入ルノデアリマスカ

○富田政府委員 是ハ工場ニモ用例ノアル所デアリマシテ、内縁ノ妻ト云フモノヲ見テ居ルノデアリマス

○原委員 此「生計ヲ維持シタル」ト云フ範圍ハ、例ヘバ勞働者ガ數年間其處ニ下宿シテ居ル、ソレハ此生計ヲ保持シタルト云フコトニナルノデアリマスガ、例ヘバソレニ關聯シテ色々ナ利害關係ガ起ッテ來ルヤウナ場合、即チ勞

働者ガ疾病ニ罹ッタト云フヤウナ時ニ、此生計ヲ維持シタルト云フ所ノ範圍、是ハ内縁ノ妻ト云フノハ一例デアリマスガ、サウ云フヤウナ時モ、生計ヲ維持シタルコトニナルノデアリマスガ、其内縁ノ妻ノ場合ト、所謂内縁ノ妻ニ代ルベキ下宿屋ノオ婆サンデアルトカ、或ハソレニ代ッテ生活費ヲ維持シタル云フ、此二ツノ法律上モ區別ハ、ドウシテ御決メニナルノデアリマスカ

○富田政府委員 實ハ此收入ニ依リ生計ヲ維持スルト云フ言葉ニ付キマシテハ、可ナリ沿革モアル言葉デアリマシテ、工場等ニ於テモ解釋ハ一定シテ居ルノデアリマシテ、其人ノ生活ガ専ラ當人ニ從屬スルト云フ意味合デアリマシテ、ソレハ解釋上内縁ノ妻ニ限ル、斯ウ云フ用例ト解釋ニ、從來他ノ方面ニ於テモ致シテ居ルノデアリマス、其理由ハ最モ本人ノ收入ニ依ッテ維持スルモノ、密接ナル者ハ内縁ノ妻デアルト云フ考カラ、解釋ヲ一定シテ居ル譯デアリマス

○原委員 ソレデハ次ニ御伺致シタイデスガ、第三條ノ「前條ノ事業主トハ勞働者ヲ使用シテ事業ヲ爲ス者ヲ謂フ但シ第一條第一項第二號(ハ)ノ工事ノ全部又ハ一部ガ數次ノ請負ニ依リ爲サル場合ニ於テハ」ト云フ、此數次ノ請負ト云フ意義ガ、私ノ考デハ、例ヘ

バ一個ノモノヲ數人ニ分割シテ——而モ元請ハ一人デ、分割シテ請負ヲ爲サシメタヤウナ場合、ソレカラ一個ノ請負ヲ順次ニ下請關係ニ請負ハシメタト云フ關係ト、二ツヲ、想像スルヤウニ思フノデアリマス、私モ是ハ怪シイノデスガ、此觀念ヲ一々明カニシタイノデアリマス

○富田政府委員 一ツノ仕事ヲ數個ニ分割スル場合ニ於キマシテモ、又其分割シタルヲ縱ノ數個ニ分割スル場合ニ於キマシテモ、例ヘバ(ハ)ト申シマス、土木建築ノ工事デアリマスガ、其モノガドチラニ行キマシタ場合デモ之ヲ包含スル、斯ウ云フ考ヘ方デアリマス

○原委員 此場合ニ於キマシテ、第二號ノ(ハ)ノ工事ダケニ限ッテ茲ニ問題ハ起キテ居リマスガ、此一條一項ハ數個ノ關係ハ起ラナイノデアリマスカ

○富田政府委員 第三條ノ(ハ)ノ工事ノ全部又ハ一部ト相成ッテ居ルノデアリマシテ、ソレハ御指摘ノ通りニ(ハ)ノ場合ニ限ルノデアリマス、併ナガラ第一條ノ一項ノ場合ニ付キマシテハ、實際業態ノ方法ガ多少違ッテ居ルノデアリマシテ、ソレハ第四條ニ第一條第一項第一號ノ場合ニ付キマシテハ、特別ノ規定ガアルノデアリマス、ソレハ例ヘバ第一條第一項ノ場合ニ於キマシ

テハ、土木建築ノヤウナ數次ノ請負ノ事業ガ行ハレルト云フノト、ヤリ方ガ多少異ツテ居ルノデアリマス、譬ヘテ見マス、セメントノ會社ガアリマシテ、山ヲ持ッテ居ルト云フヤウナ場合ニ「ヒメント」會社ガ或ル請負人ニ其「セメント」山カラ原石ヲ掘ラシテ、ソ

レヲ又「セメント」會社ガ購入スルト云フヤウナ場合ニハ、第四條ノ會社ハ即チ注文者デアリマシテ、其請負ヲ爲ス者ハ事業主デアリマス、其關係ニ於キマシテハ、土木建築ノ數次ノ請負ニ行キマスノト、只今申シマシタ「セメント」山ノ例トハ、多少請負關係ニ差ガアリマスノデ、特ニ是ハ第三條及ビ第四條ニ書分ケタ次第デアリマス

○原委員 第三條ト第四條ノ中ニハ、第一條ノ數次ノ關係ト云フコトガ現ハレテ居ラナイヤウニ思ヒマス、私ノ言フノハ、第一條ノ場合ニ於テモ、此下請關係トカ云フ問題ハ起ラナイノカト、斯ウ云フ意味ナノデス

○富田政府委員 起ラナイト思ヒマス、特別ノ場合ニハ今申シマシタヤウナ關係ガ行ハレルノデアリマシテ、土木建築ノ場合ノミニ起ルノデアリマス

○原委員 デスケレドモ、「地下ニ於テ作業ヲ爲スモノ」デスカラ、作業ヲ命ズル、或ハ今言フ火藥ヲ用ヒテ、例ヘバ道路ノ一方ニ、縣道ノ修復ヲスル場合ニ岩ガ突出シテ居ル、サウ云フ時ニソレヲ打壞ハス、其打壞ハス時ニ元請ト云フモノガアツテ、此區域ハオ前ガヤツテ呉レ、此區域ハオ前ガヤツテ呉レト云フ關係ハ、同ジヤウニ起ル譯デアリマセスカ

○富田政府委員 其縣道ニアリマスルモノヲ打壞ハストカ云フ、除却スルモノハ、即チ土木ニ關スル工事ト解釋スルノデアリマス

○原委員 サウ致シマス、何處マデモ「土石砂鑛ヲ採取スル事業ニシテ」此範圍ニ限定サレル譯デスネ、此「土石砂鑛ヲ採取スル事業ニシテ」ト云フ關係ニ於テハ、下請關係ナドト云フモノハ起ラナイト云フ御鑑定デアリマス

○富田政府委員 サウ云フ考ヘ方デアリマス

○原委員 ドウモソレガ一寸分ラナイノデスガ、土石砂鑛ヲ採取ヤル場合、ドウシテ下請關係ガ起ラナイノデスカ

○吉田政府委員 私カラ御答致シマス、此第四條ニアリマス通り、一條一項一號及ビ四號ノ如キ事業ガ、専ラ同一ノ注文者ノ注文ニ依リ爲サレルモノデアルトキニハ、其注文者モ其事業ニ付テ事業主デアルト云フコトニスルト云フコトハ、丁度三條ニ於テ元請人ヲ

事業主トスルコトニ該當スル譯デアリマス、サウシテ三條三項ノ規定デアリマスガ、前項ノ場合ニ於テ元請負人ガ扶助ノ請求ヲ受ケタルトキハ云々ト云フ規定モ準用ニナルノデアリマス、四條ニ設ケテアリマス趣旨ハ、丁度御尋ノ通りニ四條ノ場合ニ於キマシテモ、三條ノ土木工事ニ於ケルガ如キ關係ガ、注文主ト仕事ヲスル者トノ間ニアルト云フ事實ニ基キマシテ、三條ノ規定ト同ジヤウナ取扱ヲ、四條ノモノニ付テモシヨウト云フ趣意デ、四條ノ規定ガ置カレテ居ルノデアリマス

○原委員 注文主ト云フコトハ、物ノ賣買契約ノ規定ニ基イテ始メテ出來ルノガ注文主ノ關係デアリマス、下請關係ト云フモノハ、依然トシテ工事ヲ請負ウテ置イテ、ソレヲモウ一ツ順次ニ下請サスト云フ關係デアリマス、ダカラ此注文者ニモ特ニ此規定ヲ設ケタコトハ、即チ注文シタト云フ關係カラ、茲ニ一ツノ條項ガ出テ來タノデ、注文者ト云フモノハ、ヤハリ土木請負人或ハ工事ノ請負ヲ爲ス者ト違フノデアリマスカラ、是ハ全然關係アリマセス、

此第一條ノ今ノ私ノ質問ニ對シテ、何處マデモ土石砂鑛ヲ採取スル事業ニ付テハ、下請關係ガナイノダト云フ御鑑定ガ、ドウシテ御付キニナルノカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ドウモ私ノ考ト

一寸喰違ヒガアルヤウデス、サウ云フコトヲ仰セニナルナラ、尙更注文者ト云フモノヲ特ニ書分ケテ置ク必要ガナイコトニナル、ダカラ事業主ト云フ風ニナツテ居ッタル宜イノデアリマス、私ハ特ニ此注文者ヲ殖ヤシテ來タト云フコトハ、例ヘバ砂鑛ナラ砂鑛ヲ何噸俺ハ買フカラト云フノデ買主ガキマル、ソコデ其事業主ト云フモノガ宜シイト云フコトデ、採掘ト云フ問題ガ起ル、ソコデ下請ト云フ關係ガ起ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、特ニ注文者デモ放ッテ置ケヌゾト云フノデ、是ハ本法ガ田中内閣當時トハ違ッテ、注文者マデ殖ヤシタコトガ、所謂勞働者ニ利益ヲ立法デアラウ、斯ウ云フ風ニ私ハ解釋スル、ダカラ土石砂鑛採取ノ關係ニ於テ、先刻申シタ數次ト云フモノハ、分割スル場合、若クハ順次ニ下請關係ヲ爲ス場合ト云フ、此兩者ヲ含ム意味ニ於テ、第一號ノ場合ニサウ云フコトハ起ラナイト私ハ考ヘマス

○富田政府委員 今ノ注文ノコトヲ、モウ一度御説明致シマス、此四條ノ注文ト書キマシタ譯ハ、例ヘバ先ニ申シマシタヤウナ「セメント」會社ガ「セメント」山ヲ持ッテ居リマシテ、サウシテ請負人ガアツテ、其石ヲ掘ッテ、其材料ヲ「セメント」會社ニ提供スルト

云フヤウナ場合、若クハ倉庫業者ガ仲仕ニ或ル仕事ヲ委託シテ、其仕事ヲスルト云フヤウナ場合ニ、此「セメント」會社若クハ砂會社ヲ注文者ト考ヘテ居ルノデアリマシテ、其場合ニ於テハ、專ラ注文者ノ注文ニ依ッテ爲サレル時ニハ、其注文者モ前ノ三條ノ場合ノ數次ノ請負ト違ッテ居リマスルケレドモ、關係ハ經濟的ニハ似タモノデアリマスカラ、之ヲ保護スル爲ニ、ヤハリ注文者モ亦元請負人ト同ジヤウナ責任ヲ課スル、斯ウ云フ風ニ注文者、數次ノ請負ノ場合ニ於キマシテハ、元請人ト云フ者ニ責任ヲ負ハスコトガ、勞働者ノ保護上適當デアル、斯ウ云フ意味合デ、注文者ト數次ノ請負ノ場合トヲ別ケテアルノデアリマス

○原委員 ドウモ私ニハ分リマセヌガ、今ノ例ニ依リマス「セメント」會社ガ山ヲ持ッテ居ッテツレヲ掘ラシタト云ッタナラバ、ソレハ直接ノ事業主ニナリハシマセスカ

○富田政府委員 ソレハ「セメント」會社ガ「セメント」山ヲ持ッテ居ル、サウシテ事業ヲ爲ス者ハ、請負ヲシタ者ガ其原石ヲ掘出シテ「セメント」會社ニ供給スルノデアリマス、事業ヲ爲ス者ハ、請負人ガ事業ヲ爲ス者デアリマスガ、其場合ニ於キマシテハ、注文者即チ「セメント」會社ガ、ソレニ付

テ責任ヲ負フト云フ意味合デアリマシテ、其場合ニ付テハ、恰モ數次ノ請負人ノ場合ニ於ケル元請負人ニ責任ヲ持タスト同ジヤウニ、注文スル人、即チ「セメント」會社ニ保障ノ地位ニ於テ保障ノ債務ヲ負ハス、斯ウ云フ意味デアリマス

○原委員 サウスルト私ノ前申シタ注文者ニ外ナラナイノデス、ソレハ結局ソレ迄ノ範圍ハ注文者デアルカラ、ソレデ宜シイ、私ノ言フノハ、是ダケヲオ前掘ッテ吳レト云フ、ソコデ愈、掘リニ掛ル、即チ事業ニ掛ル、其仕事ヲ引受ケタ人ガ、モウ一ツ下ノ者ニ、オ前一ツヤレト云フ、下請ト云フ問題ガ起ッテ來ル、是ガ起ラヌト云フ理由ハドウシタコトデスカ

○吉田政府委員 御質問ノ趣旨明瞭致シマシタ、ソレハ請負或ハ下請ト申シマスモノハ、一ツ一ツノ工事ニ付テハ言ヒ得ルノデアリマスガ、併ナガラ此第一號ニ書イテアリマス仕事ハ、一ツ一ツノ獨立シタ工事デアリマセズシテ、土石砂鑛等ヲ採取スル事業、繼續シタ連續ノ事業ナノデアリマス、隨テ丁度工場デ物品ノ製造ヲスルノト同ジヤウナ意味、鑛山デ始終石炭ノ採掘ヲシテ居ルノト同ジヤウナ意味デアリマシテ、成程御尋ノヤウナ趣意デ、或ル特定ノ人間ガ其下ニ働キマシテ、丁

度請負ニ似タヤウナ關係デ、帳場ヲ區切ッテ働クト云フ事ハアリマセウガ、ソレハ其事業ノ一部分ノ仕事ニナルノデアリマス、繼續ノ仕事ニ對シマシテ、丁度工場ノ係長トカ、第何工區ノ組頭トカ云フ風ニ考ヘラレルヤウナ事デアリマシテ、斷片的ノ工事ニ於ケル下請ト云フモノトハ、本來仕事全體ニ對スル關係ガ違ッテ居ルノデゴザイマス、餘リ著シクソレガ事業主ノ仕事ト離レテ居リマスレバ、一ツ一ツノ工事ヲヤッテ居ル人間ト云フモノモアリ得マセウ、其時ニハ工事ニ關スル規定ガ適用ニナリマスガ、多クノ場合ニサウデアリマセズシテ、此處ノ小頭、此處ノ親方ト云フヤウナモノニナリマシテ、工事ノ一部分ヲ形成シテ居ルモノデアルト見ルコトガ穩當デアラウ、隨テソレ等ノ繼續ノ仕事ニ付キマシテハ、土木建築工事ノヤウナ請負、下請ニ關スル規定ヲ其儘使ヒマスル必要、實益ト云フモノガアルマイト云フ考デ、注文主ト事業主ノ關係ヲ律スルニ止メテアリマス

○原委員 此點マダ私ハ非常ニ疑問ノ點ガアリマス、サウ云フ事ハ無イダラウト仰セニナリマスレドモ、實際其當初ニ會社ト約束ヲシタ者ト、其下ニモウ一ツ請負ハシメルト云フ關係ハ、ドウシテモ起ッテ來ルト思フ、ダカラ

若シモ本法ノ關係ニ於テ、下請關係ノ契約問題デナイト云フヤウニ、假ニ脫法的ニ免レントシタ場合ニ於テハ、所謂第三條ノ適用ガ——其利益ガドウ云フ工合ニナルカト云フコトハ、先ヅ後廻シニ致シマシテ、少クトモ第一條ノ第一項ニハ、第三條ノ關係ガ起ッテ來ナイノデアリマスカラ、此適用ヲ免レルト云フ問題ガ、事實上私ハ起ッテ來ルト思ヒマスガ、サウ云フトキニハドウ致シマスガ、本法ガアルガ故ニ、サウ云フ契約ヲ結ンデ、下請ト云フヤウナ關係ガ起ッテ來タ場合ニハ——起ラヌト斷定サレマスガ、起リ得ルコトヲ吾々ハ豫想出來ルト思ヒマス、サウ云フトキニハドウシマスガ

○吉田政府委員 原則ト致シマシテ、第四條ノ場合ニ於キマシテハ、事業主ガ常ニ事業ノ結果生ジマシタ扶助責任ト云フモノヲ果スノデアリマス、其下ニ只今申シマシタヤウナ親方ガ居リマシテ働キマシテモ、ソレハ事業主ノ扶助ニ屬スルノデアリマス、脫法行爲ト云フヤウナ事ハ起ル餘地ハナイノデアリマス、前ニ下請ノ場合ガアリマスノモ、是ハ脫法行爲ヲ防グト云フ意味デアリマセズシテ、下請負人ニ對シマシテ、先ヅ請求スルコトヲ得セシムルト云フ意味デ、此第三條ガ設ケラレテ居ルノデアリマシテ、是亦扶助責任ヲ通

レル者ガアルトイケナイト云フ趣意デハナイノデアリマス、詰リ元請人ト下請人ノ間、又注文主ト事業主ノ間ニ、一種ノ連帶的ナ關係ヲ付ケマシテ、サウシテ其何レカニ對シマシテ請求ヲスル途ヲ開イテアルノデアリマシテ、砂鑛山、石山等ニ於テアリマスル事業範圍内ノ、所謂アナタノ御考ニナツテ居リマスル下請式ノ丁場ニ於キマシテ、扶助ノ事由ガ發生致シマシタナラバ、ソレハ事業主ノ責任ニナルト云フコトデ、立派ニ問題ガ解決スルノデアリマス

○原委員 ソレデ漸ク分リマシタ、次ニ私が御尋致シタイノハ、田中内閣ノ當時ニ於キマシテハ、數次ノ請負ノ場合ニ於テハ、連帶シテ責任ヲ負ヘト云フ、連帶ノ規定ガアツタ、此連帶ノ規定ト云フモノハ、私ハ非常ニ重大ナル勞働者ノ保護ノ規定ダト思ツテ居ルノデアリマス、然ルニ本法ニ於テハ、此連帶ノ規定ヲ御省キニナツタ、即チ只今政府委員ノ御説明ニ依ルト、一工ヲ數人ニ依リテ分割シテ請負ヲ爲ス場合、一工ヲ順次下請關係ニ於テ爲ス場合、此兩者デ御決メニナルト云フコトデアリマスガ、例ヘバ茲ニ一ツノ事業ヲヤル場合ニ、數人ニ分ツチャツテ居ル場合デモ、根本ガ一ツデアッタナラバ、サウシテ一人ガ拂フ能力ガナケレバ、連帶デ拂ハナケレバナラスト云フ、連帶ノ責任ヲ持タシタト云フコトハ、實ニ重大ナル勞働者擁護ノ地位ニ立ッノデアリマスガ、勞働者擁護ノ目的カラオヤリニナラレタト云フ本案ニ於テ、連帶ノ規定ヲ御省キニナツタノハ、如何ナル理由デアリマスカ

○吉田政府委員 此扶助ノ責任ヲ十分ニ果シマスルト云フ上カラ申シマスレバ、第一、ニ何人ガ扶助責任者デアルカト云フコトヲ、明瞭ニ致シマスルコトガ必要ナノデゴザイマス、今回ハ扶助責任ト云フモノハ、第三條ニアリマスル通りニ、數次ノ請負ニ於テ爲シタル場合ニ於キマシテハ、元請負人ト直接ノ總體ノ事業主ト云フ者ヲ以テ、先ヅ工事ニ付テノ事業主ト云フコトニ致シタノデアリマス、併ナガラ左様ニ數次ノ請負人ガアリマスル場合ニ於キマシテ、其下請人ヲシテ扶助ヲ引受ケシメルト云フコトノ契約ノ明瞭デアリマスル場合ニハ、其下請人モ亦自分ノ請負ツタ工事ノ範圍ニ付テ、事業主トスル、サウシテソレニ對シテドチラニ先ニ請求スルカト云フ規定ヲ、第三項ニ決メマシタノデアリマス、斯様ニ致シマスルコトノ方ガ、總テノ下請人ガ皆連帶シテ責任ガアルンダト云フ風ニシタ方ガ、前ノヤウニ致シテアリマスヨリモ、扶助ヲ受ケル方面カラ致シマシテ

モ、又扶助ノ責任ヲ果ス方面カラ申シマシテモ、今回ノ立前ノ方ガ明瞭デアラウト云フ見解ニ依リマシテ、斯様ニ改メタノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテモ、尙ホ當業者方面ノ意見モ十分ニ聽キマスルシ、實地ノ請負關係ノ中ニモ立入ッテ調べテ見マシテ、斯様ニ致シテ扶助ノ責任ト云フモノ、歸屬ヲハッキリサシテ置ク、共同連帶ト云フヤウナ分擔主義ノ考デナクシテ、ハッキリト扶助ノ責任ノ歸屬ヲ決メテ置ク方ガ、扶助ヲ實行スル上ニ於テ事實上便宜デアリ、此方ガ圓滑ニ運ブデアラウ、斯ウ云フ考ヲ以テマシテ、今回ノヤウニ改メタノデアリマス、尙ホソレニ付キマシテハ、御承知ノ通り扶助ノ責任ヲ果ス上ニ付テハ、責任保險ト云フモノモ定メラレテ居リマスノデ、斯ク改メタガ爲ニ、勞働者ノ方ニ不利益ニナルト云フコトハナイ、責任保險ト相俟チマシテ、是デ扶助ノ責任ヲ十分ニ果サセルコトニ、便利ニナツタカト思フノデアリマス

○原委員 責任ノ歸屬ハ自ラ歸屬スル所ニ行クノデ、連帶規定ガアツテモナクテモ、要スルニビシツト行クノデス、併ナガラ唯事業關係ノ連鎖ガ、サウ云フ數個ノ請負關係ニアツテ、或ハ元請ナラ元請ガ資力ガ弱クテ、下請ノ方ガ餘計金ヲ持ッテ居ル時ガアル、サウ云

○原委員 只今ノ御質問ニ對シテ、私カラ御答スルノガ適當デアルカドウカ分リマセスガ、私ノ考ヲ申上ゲマスレバ、請求者ノ方カラ見レバ、義務者ノ方ガ連帶責任ヲ負フト云フコトガ、安全デアルト考ヘルノデアリマス

○原委員 我ハ唯法律上ノ根本精神ガ何處ニ在ルカト云フコトヲ、今泉二政府委員カラ御聽キ致シタノデアリマスガ、今泉二政府委員ガ仰セラレル通り、兎ニ角請求者デアアル勞働者ノ方カラ云フト、連帶ノ規定ハ省イタ方ガ宜クナルト云フ理由ハ、ドウシテモ出テ來ナイ、然ルニ此規定ヲ御省キニナツタト云フコトハ、即チ勞働者ニ取ッテ重大ナル擁護ノ法則ヲ、田中内閣ノ當時

○原委員 責任ノ歸屬ハ自ラ歸屬スル所ニ行クノデ、連帶規定ガアツテモナクテモ、要スルニビシツト行クノデス、併ナガラ唯事業關係ノ連鎖ガ、サウ云フ數個ノ請負關係ニアツテ、或ハ元請ナラ元請ガ資力ガ弱クテ、下請ノ方ガ餘計金ヲ持ッテ居ル時ガアル、サウ云

○原委員 只今ノ御質問ニ對シテ、私カラ御答スルノガ適當デアルカドウカ分リマセスガ、私ノ考ヲ申上ゲマスレバ、請求者ノ方カラ見レバ、義務者ノ方ガ連帶責任ヲ負フト云フコトガ、安全デアルト考ヘルノデアリマス

カラ見タラ、御省キニナタト私ハ思
フノデアリマス、ドウ云フ譯デ連帶ノ
規定ヲ御省キニナツテ、ソレガ勞働者
ノ爲ニ宜イト仰セラレルノデアリマス
カ、モウ一言ソレヲ御同致シマス

○吉田政府委員

連帶ト云フコトカ

ラ、連帶ト云フダケニ付テ見マスル
ト、泉二政府委員ノ仰シタル通りナ
デアリマスガ、御承知ノ通りニ請負ハ
大キナ工事ニナルト、ズット數次ノ請
負ニ依ッテヤラシテ居ルノデアリマス
ノデ、又只今御話ノ如ク、其中ニハ資
力ノ十分ナモノモアレバ、十分デナイ
モノモアル、併ナガラ此責任ノ歸屬、
勞働者トシテハ彼方ヘ行ッテ宜イノカ、
此方ヘ行ッテ宜イノカト云フコトヲ、
初メカラ豫定セラレテ居リマシタ方
ガ、請求ヲ致シマスル上ニ於キマシテ
非常ニ安心デアリ、便利デモアルノデ
アリマス、又請負人ノ方カラ申シマシ
テモ、此人間ガ責任ヲ負フノダト云フ
コトガ、初メカラ分ッテ居リマスレバ、
其積リデ請負關係ガ決メラレルノデア
リマス、請負ヲ致シマスレバ、ソレニ
對シテ報酬ガ入ッテ來ル、其報酬ノ取
リ方モ、何人ガ責任ヲ負擔スルカラ、
ドレダケノ價額デ落サウト云フコト
ガ、初メカラ決マッテ居リマスレバ、
其積リデ、ソレダケノ用意ガ出來テ掛
ルノデアリマスノデ、御承知ノ通り前

ノ案ハ、但シ事業ノ全部又ハ一部ガ數
次ノ請負ニ依ッテ爲サレル場合ニハ各
請負人、其各請負人ヲ其事業主トスル
ノダ、其場合ニ於テハ、各事業主ハ其請
負フタ事業ノ勞働者ニ付テハ、連帶シ
テ扶助ノ義務ヲ負擔スル、斯ウ云フコ
トニナツテ居リマスノデ、今回ハ斯様ニ
改メマシテ、書面ヲ以テ契約ヲシテ居
ル場合ニ於テハ、下請負人モ、其契約
ヲシタ請負人モ、請負フタ工事ノ事業
主トナル、此場合ニ於テ事業主ハ二人
アル譯デスガ、元請人デアリマス事業
主ト、扶助ノ責任ヲ引受ケル下請人ト
ノ間ノ關係ハ、第三項デ律セラレテ居
リマスノデ、是ハ恰モ連帶ニ於テ受ク
ベキ實益ヲ、茲ニ此第三項ノ規定ニ依
リマシテ舉ゲルコトニナツテ居ルノデ
アリマス、素ヨリ元請人ハソレニ依ッ
テ責任ヲ免レルノデハアリマセヌ、免
レルノデハアリマセヌケレドモ、扶助
ノ責任ヲ受ケタ下請人ニ對シテ、催告
スルコトヲ請求スルコトガ出來ルト云
フコトニ致シマシテ、連帶ト同ジ實益
ヲ、元請人ト扶助ノ責任ヲ引受ケタ下
請人トノ間ニ致スコトニ致シテアリマ
ス、此第三項ノ規定ハ、一方二項ノ規
定ト相俟チマシテ、勞働者ノ爲ニモ何
處ヘ行ッテ請求スレバ宜イカト云フコ
トガハッキリナツテ居リマス、元請人ト
下請人ト云フ者ガ、所謂嚴正ナ意味デ

連帶事業デハアリマスマイケレドモ、
連帶的ニ扶助ヲ引受ケルト云フ立前ニ
出來テ居リマスノデ、斯様ニ致シマシ
タ方ガ、扶助ノ責任ヲ實行スル上ニ於
テ、事實便利デアルト云フ考デ、斯ウ
云フ制度ニ改メタノデアリマス

○原委員

催告ノ點ハ又後デ御尋シタ

イト思ヒマスガ、只今吉田政府委員ノ
仰セニナル所ハ、何人ニ行ッテ宜イカ
ト云フコトヲ、安心サセルト云フコト
ヲ仰セニナリマスガ、安心ハ一ツノ所
ヘ行クヨリモ、下請ナリ元請ナリ、其
兩方ヘ行ケルトシタ方ガ、餘計勞働者
ハ安心スルデハアリマセヌカ、ソレガ
下請ノ方ニ限ルンダ、或ル元請ノ方ダ
ケシカ行ケナイノダト云フコトニナレ
バ、ソレダケ勞働者ト云フモノハ不利
益ニナルノデ、安心シテ勞働ニ從事出
來ナイト云フノガ、寧ロ觀念デハアリ
マセヌカ、一人ダケト云フヨリモ、數
人アルンダト云フ方ガ、私ハ勞働者ノ
爲ニ利益ニナルノデハナイカト思ヒマ
ス、其點如何デスカ

○吉田政府委員

扶助ノ責任ヲ引受ケ

ル人ガ多イ、誰ニデモ行ケルト云フ關
係カラ御覽ニナリマス、一應宙デ想
像シタ場合ニハ、左様ナ者モ起ルカト
思フノデアリマスガ、愈々扶助ヲ受ケ
ルト云フ時ニ、誰ノ所ヘモ行ケルンダ
ト云フ反面ニ於キマシテ、誰ガ實際扶

助ノ責任ヲ受ケルノダト云フコトノ決
マリマセヌコトハ、勞働者ニ取リマシ
テハ、却テ心許ナイコトナノデアリマ
ス、通常是ハ勞働者ニ直接ニ接觸シテ
居リマスモノハ、自分ノ使ハレテ居リ
マスル下請人デアル場合ガ多イデアリ
マセウ、多イデアリマセウケレドモ、
事業全體ノ責任トシテ、注文主カラ金
ヲ貰ッテ仕事ヲスル人ガ元請ナノデア
リマス、ソコデ此金ヲ貰ッテ仕事ヲ請
負ッテ居ル元請人トソレカラ現實ニ勞
働者ヲ使ッテ居リマス下請人ト、此二
ツガ勞働者ノ扶助ノ責任ヲ果ス上ニ於
キマシテ、最モ主要ナモノト考ヘルコ
トハ、少シモ實情ニ遠ザカッテ居ルコ
トデハゴザイマセヌノデ、左様ナ考ヲ
以チマシテ、元請人ヲ以テ一應扶助ノ
責任者トスル、サウシテ現實ニ勞働者
ヲ使ッテ居リマス下請人トノ間ニ契約
シテ、扶助ノ責任ヲ引受ケタ場合ニ、
事業主ガ元請人ノ所ヘ請求シテ參リマ
シタナラバ、元請人ハ下請人ニ催告ガ
出來ルト云フコトニ致シテアリマスガ
ラ、少シモ勞働者ト致シマシテハ、不
安心ト云フコトハナイノデアリマス

○原委員

此三條ノ全體ノ規定ハ、恐

ラク田中内閣ノ時ノ規定ノ正反對ニ、
斯ウ云フモノヲ御作リニナツタノハ、是
ハ確ニ事業主カラ、所謂元請人カラ頼
マレテ、現政府ガ斯ウ云フモノヲ拵ヘ

タト云フコトハ、ドノ點カラ見テモ、
此三條程勞働者ノ不利益ナ規定ハナイ
ノデアリマス、第二項カラ第三項ニ行
ケバ行ク程、今申シマシタ通り、豫メ
吾々ハ法律ノ保護ヲ受ケル場合ニ於
テ、元請カラモ貫ヘレバ、其次ノ下請
カラモ貫ヘルノダト云フノデ、法ノ保
護ヲ受ケルト云フ所ノ責任ノ歸屬ヲ決
メテ居ル、其法律ニ依ッテ保護セラレ
タル所ノ其元請、其下請ト云フモノ、
ドチラニモ責任ガアツテ、金ヲ貫ヘル
ノダ、斯ウ云フ勘定ヲ以テ兩方ニ貫ヘ
ルコトニシテアルノガ、ドウシテソレ
ガ却テアブナイト云フコトヲ仰セニナ
ルノデアリマスルカ、私ハソレガドウ
シテモ先ヅ解釋ガ付カナインデアリマ
ス

○吉田政府委員

ドチラカラモ貫ヘル
ト云フノガ、アブナイト云フ意味デ申
上ゲテ居ルノデハナイノデアリマス、
ダカラ貫フト云フノガ明確ナ方ガ、扶
助ヲ受ケル者ニ取りマシテモ、又扶助
ヲ行フ者ニ取りマシテモ、其方ガ權利
義務ノ關係ガ明瞭デアツテ便利デアル、
斯様ニ申シテ居ルノデアリマス、無論
一番ニ金ヲ手ニ入レル人ハ元請人ナノ
デアリマスカラ、本當ハ元請人ト云フ
モノガ、一切ノ事業カラ生ジマシタ責
ヲ負フノガ當然ナノデアリマス、所ガ
只今申シマシタ通り、下請人ガ現實ニ

勞働者ヲ使ッテ居ルト云フ場合ニハ、
元請人ト下請人トノ契約ニ依リマシ
テ、下請人モ事業主ニナルカラ、サウ
云フ契約ヲシタ場合ニハ、元請人ハ下
請人ニ對シテ、先ヅ催告スベキ旨ヲ請
求スルコトヲ得ルト云フコトニナツテ
居リマス、斯様ニ致シテアリマスレ
バ、責任ノ歸屬ト云フコトハ極メテ明
瞭デアリマスルカラ、扶助責任ヲ果ス
上ニ於キマシテ、實際上ノ便利ガアツ
テ、サウシテ元請人ガ原則ト致シマシ
テ事業ヲスレバ、ソレハ元請人ト云フ
モノガ、抑、金ヲ貫フ一番元ノ人デア
テ、下請人ハ順次元請人カラ致シマシ
テ、幾ラカヅ、金ヲ拂ッテ行クト云フ
關係ニアリマスノデ、扶助責任ヲ行フ
下請人ト云フモノヲ、契約デハッキリ
決メルト云フコトデアリマスレバ、勞
働者ト致シマシテハ、取損フ虞ハナイ
ノデアリマス、サウ云フコトデ、其程
度デ足り得ルノデ、此方ガ勞働者トシ
テ實際請求ヲ致シマスル場合ニハ、非
常ニ明確デアルノデアリマス、又法律
ニ左様ニ規定致シテ置キマスレバ、サ
ウ云フ風ナモノデアルト云フコトニ決
マツテ居リマスレバ、決シテ勞働者ガ
保障ヲ受ケル上ニ於キマシテ、不安ヲ
感ズルコトハナカラウト思フノデアリ
マス

○富田政府委員 只今御説明シタ通り
デアリマスガ、大體此經濟關係カラ達
觀シテ考ヘマスト、元請人ト云フモノ
ガ、原則トシテ經濟力ノアルモノデア
ルト云フ、大體ノ推定ハ付クノデアリ
マス、ソレガ先ヅ元請人ト云フモノニ
責任ヲ一應課スト云フコトガ、最モ妥
當デアラウト云フコトガ第一點デアリ
マス、ソレカラ今度ノ制度ハ、保險ヲ
取入レマシタ關係上、保險ハ元請人ガ
保險契約者トナルノデアリマス、其意
味ニ於キマシテ、元請人ハ工事ヲ請負
ヒマスル場合ニ於テ、保險料率ハ是ダ
ケデアルト云フコトデ、大體保險料率
ト云フモノガ豫定シ得ルノデアリマ
ス、サウシマスルト、元請人ハ先ヅ注
文者カラ注文ヲ取リマス場合ニ、保險
料率モ大體工事請負價格ノ中ニ豫定ス
ルコトガ出來ルノデアリマス、サウ云
フ關係デ、連帶トシテ何人モガ責任ガ
アルト云フコトヨリモ、經濟的ニ大體
カラ達觀シテ、元請人ニ勞働者保護ノ
爲ニ責任ヲ負ハスコトガ、先ヅ經濟上
十分デアルト云フ考ト、保險ヲ取入レ
タ關係上、豫メ之ヲ確定スルコトガ、
經濟上妥當デアルト考ヘマシタ關係
上、元請人ヲ原則ト致シマシタ、併ナ
ガラ先程御指摘ニナリマシタル連帶ノ
觀念ヲ、全然失シタノデアアリマセ
ス、ソコニ書イテアリマスル通り、下
請人ハ特別ノ契約ヲシタ其時ニ、恐ラ

ク、實質的ニ、經濟的ニ之ヲ引受ケル
引受契約ヲ致シタノデアリマスガ、下
請人ガ明瞭ニ之ヲ契約シテ引受ケタ場
合ニ付テハ、其人ヲ責任者トスルト云
フコトデ以テ、却テ法律上ノ形式的ノ
連帶ト云フコトデナクシテ、經濟的ノ
若クハ請負工事ノ價格ノ確定ト云フコ
トニ依ッテ、豫メ元請人ト云フモノヲ
義務者トスルト云フコトガ、實際勞働
者ノ保護ノ爲ニモ便利デアルト云フ關
係カラ、連帶ヲ變ヘタノデアリマシ
テ、決シテ請負人ノ運動トカ云フヤウ
ナコトヲ、少シモ考ヘテ居ル譯デハナ
ク、偏ニ勞働者保護ト云フ立場カラ、
建前ヲ少シ變ヘタト云フニ過ギナイノ
デアリマス

○原委員 サウ云フコトヲ仰セニナル
ノハ詭辯ダト思ヒマス、即チ保險料ノ
問題カラ、強制保險ヲ爲サシムルト云
フコトハ別デアツテ、本法ノ建前カラ
云フト、其趣旨ガ保險契約ニ基イテ之
ヲ保護スルカラ、サウ云フ利害ガ少ナ
イコトニナルトカナラストカ云フコト
ハ、是ハ別ノ問題デアアル、本法ノ建前
カラ云フナラバ、何處マデモ私ハ前田
中内閣ノ當時ニ出シタ連帶責任ヲ以テ
行カナケレバナラス、尙ホ進ンデ吉田
政府委員ハ、三項ノ規定ヲ置イタカラ、
置イタカラト仰セニナリマスガ、第三
項ノ規定コソ尙更勞働者ノ方ニ不利益

○吉田政府委員 只今御説明シタ通り
デアリマスガ、大體此經濟關係カラ達
觀シテ考ヘマスト、元請人ト云フモノ
ガ、原則トシテ經濟力ノアルモノデア
ルト云フ、大體ノ推定ハ付クノデアリ
マス、ソレガ先ヅ元請人ト云フモノニ
責任ヲ一應課スト云フコトガ、最モ妥
當デアラウト云フコトガ第一點デアリ
マス、ソレカラ今度ノ制度ハ、保險ヲ
取入レマシタ關係上、保險ハ元請人ガ
保險契約者トナルノデアリマス、其意
味ニ於キマシテ、元請人ハ工事ヲ請負
ヒマスル場合ニ於テ、保險料率ハ是ダ
ケデアルト云フコトデ、大體保險料率
ト云フモノガ豫定シ得ルノデアリマ
ス、サウシマスルト、元請人ハ先ヅ注
文者カラ注文ヲ取リマス場合ニ、保險
料率モ大體工事請負價格ノ中ニ豫定ス
ルコトガ出來ルノデアリマス、サウ云
フ關係デ、連帶トシテ何人モガ責任ガ
アルト云フコトヨリモ、經濟的ニ大體
カラ達觀シテ、元請人ニ勞働者保護ノ
爲ニ責任ヲ負ハスコトガ、先ヅ經濟上
十分デアルト云フ考ト、保險ヲ取入レ
タ關係上、豫メ之ヲ確定スルコトガ、
經濟上妥當デアルト考ヘマシタ關係
上、元請人ヲ原則ト致シマシタ、併ナ
ガラ先程御指摘ニナリマシタル連帶ノ
觀念ヲ、全然失シタノデアアリマセ
ス、ソコニ書イテアリマスル通り、下
請人ハ特別ノ契約ヲシタ其時ニ、恐ラ

○富田政府委員 只今御説明シタ通り
デアリマスガ、大體此經濟關係カラ達
觀シテ考ヘマスト、元請人ト云フモノ
ガ、原則トシテ經濟力ノアルモノデア
ルト云フ、大體ノ推定ハ付クノデアリ
マス、ソレガ先ヅ元請人ト云フモノニ
責任ヲ一應課スト云フコトガ、最モ妥
當デアラウト云フコトガ第一點デアリ
マス、ソレカラ今度ノ制度ハ、保險ヲ
取入レマシタ關係上、保險ハ元請人ガ
保險契約者トナルノデアリマス、其意
味ニ於キマシテ、元請人ハ工事ヲ請負
ヒマスル場合ニ於テ、保險料率ハ是ダ
ケデアルト云フコトデ、大體保險料率
ト云フモノガ豫定シ得ルノデアリマ
ス、サウシマスルト、元請人ハ先ヅ注
文者カラ注文ヲ取リマス場合ニ、保險
料率モ大體工事請負價格ノ中ニ豫定ス
ルコトガ出來ルノデアリマス、サウ云
フ關係デ、連帶トシテ何人モガ責任ガ
アルト云フコトヨリモ、經濟的ニ大體
カラ達觀シテ、元請人ニ勞働者保護ノ
爲ニ責任ヲ負ハスコトガ、先ヅ經濟上
十分デアルト云フ考ト、保險ヲ取入レ
タ關係上、豫メ之ヲ確定スルコトガ、
經濟上妥當デアルト考ヘマシタ關係
上、元請人ヲ原則ト致シマシタ、併ナ
ガラ先程御指摘ニナリマシタル連帶ノ
觀念ヲ、全然失シタノデアアリマセ
ス、ソコニ書イテアリマスル通り、下
請人ハ特別ノ契約ヲシタ其時ニ、恐ラ

デアル、第一即チ保障債務ト連帶債務ト違フ點ハドノ點カト云フト、此方ニ請求スレバ、オ前彼方ニ行ッテ資力ガアルカナイカ確メテ來イト言ッテ追返ス、サウシテ愈、ソレガナイト云フトキニ於テ、此方ニ來ルト云フ風ニナッタラ、實際勞働者ハ催告權ト云フモノハ跳付ケラレテ、二年モ三年モ掛ッテ請求シテ、ドウシテ勞働者ノ擁護ニ役立チマスカ、此三條ノ規定ハ私ハ全ク有名無實ニナル、ナゼカト云フト、只今社會局長モ仰セノ通りニ、元請ハ資カト云フモノガ多イノデアリマス、ダカラ下請人ハ往々ニシテ工事ヲ途中デ拋棄シテ遁ゲル、サウ云フ場合ニ於テ、肝腎ナ傷ヲ受ケタ人間ハドウナルカト云フトキニ困ルト云フ趣旨カラ、此元請ト云フ者ニ重大ナル責任ヲ負ハスコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレデスカラ尙ホ此元請ニ連帶規定デ何處マデモ行ケルト云フコトニシテ——ソレハ少クトモ三項ノ規定トシテ、斯ウ云フモノヲ置カレタコトニ依ッテ、事實上ハ元請ト云フモノハ責任ハ負ハヌト云ウテモ宜イノデアアル、即チ催告ヲスル、催告ヲセラレテ、サウシテ向フカラ請求シテ來タトキニ、先ヅ下請ニ行ケ、斯ウ云ッテ跳ネル、下請ト云フモノハ今何處カニ遁ゲテ行ッテ居ラス、立證トカ色々ナ問題デ、責任問題ガ起	テ來テ、實際ノ場合ハ勞働者ノ保護ニハ一ツモナラナイ、元請人ハ第三項ノ規定ニ依ッテ、元請人ハ事實上勞働者ノ災害扶助ノ責任ニ任ゼナイ形ニナル、本法ノ立法ノ理由ニナッテ居ル所ノ、今言フ責任保險ヲ附ケテアルカラ宜イ、ダカラ向更左様ナ規定ハ置ク必要ガナイ、何處マデモ前ノ立法ノ趣旨ニ基イテ、連帶責任ト云フコトヲ簡單ニ決メレバ足リル、二項ノ規定ニ於キマシテモ、斯ウ云フコトガ書イテアリマス「元請人ガ書面ニ依ル契約ヲ以テ下請人ヲシテ扶助ヲ引受ケシメタルトキハ其ノ下請人モ亦其ノ請負ヒタル工事ニ付事業主トス此ノ場合ニ於テハ二以上ノ下請人ヲシテ同一ノ工事ニ付重複シテ扶助ヲ引受ケシムルコトヲ得ズ」是ハ何處マデモ此但書ノ責任ハ、下請人デナシニ元請人ノ規定ニナッテ居ル、之ヲ規定シテアルカラ、元請人ノ重大ナル責任ガアルヤウニナッテ居リマス、所ガ第三項ニ行ッテボント跳ネテシマフ、又彼方ニ行ッテ請求シテ來イ、斯ウ云フ規定ヲ御置キニナッテ居ルコトハ、勞働者保護ノ立場カラノ立法デハナイト思ヒマス ○富田政府委員 段々御説明申上ゲタコトデアリマスガ、モウ一度重ネテ御説明致シマス、先ニ御説明申上ゲタヤウニ、連帶ガ宜イカ、元請ガ宜イカ、	無論御異論ガアルト思ヒマスガ、原則トシテ元請人ニ左様ナ債務者ヲ特定スルコトガ、何人モガ債務者ダト云フ考ヘ方ヨリモ、元請人ヲシテ全部ノ責任ヲ負ハシメタガ宜カラウト云フ基礎觀念ナノデアリマス、唯下請人ト元請人トノ間ニ、確實ナ書面契約ヲ締結シマシタヤウナ場合ニ於テハ、下請人ニ對シテモ亦責任ヲ生ゼシメルコトトスル、隨ヒマシテサウ云フ元請人ガ原則デアリマスケレドモ、下請人ニ請ケサセマシタ場合ニ於テ、第三條ノ場合ニ、是ハ御承知ノ通りニ民法上ノ檢索ノ抗辯ハ認メナイノデアリマシテ、唯一應催告スルト云フノデアリマスカラ、一應催告スベキコトヲ請求シテ、ソレデ行カナケレバ、直チニ元請人ニ參ルノデアリマシテ、決シテ此三項ノ規定ガアルカラト申シテ、元請人ガ責任ヲ負フノダト云フコトガ、三項ニ依ッテ勞働者ニ非常ナ不便デアルトハ考ヘテ居ラナイノデアアッテ、權利確保カラ言ヘバ、寧ろ連帶ヨリモ元請ト云フモノニ債務者ヲ確定シタコトガ、勞働者ノ保護上適當デアルト考ヘタ結果デアッテ、第三項ハ決シテ其元請主義ニ對シテソレヲ弱メルト云フヤウナコトハナイノデアリマシテ、唯催告ノ請求權ダケヲ認メタト云フニ過ギナイ、隨ヒマシテ一ツノ保障ニ下請人モ元請人	モ特別ノ義務ヲ負ッテ居ッテ、決シテ三項ト云フモノハ元請人ノ責任ヲ弱メル譯ニハナラヌノデアリマス ○原委員 是ハドウモ面白イコトヲ伺ヒマス、檢索ノ抗辯ガナイト言フガ、檢索ノ抗辯ト云フコトハ何所カラ出テ來ルカ、催告スル旨ヲ請求スルコトヲ得ト云フノガ、檢索ノ抗辯ト云フノデアリマセスカ ○富田政府委員 催告ノ權利デアル、催告スベキ請求權ガアルト申シテ居リマス ○原委員 催告ヲスルト云フコトハ、裁判所ニ於テ、先ヅアチラヘ行ッテ請求シテ下サイ、私ハ受ケマセヌト云フコトガ、所謂檢索ノ抗辯即チ此所ニ謂フ催告ノ請求デアル、ダカラ催告ヲ請求スルコトヲ得ト云フコトハ、即チ檢索ノ抗辯デアル、檢索ノ抗辯ト云フコトガ他ニ在ルナラバ聽カシテ下サイ ○富田政府委員 私ハ今條文ハ能ク記憶シマセスガ、催告ノ抗辯ト檢索ノ抗辯トハ差異ガアルモノト考ヘテ居リマス ○原委員 催告ト云フ問題ガ起ルカラ、檢索ヲセイト云フコトニナルノデス、檢索ノ抗辯ト云フコトハ、法律上直接何所ニ出テ居リマス ○富田政府委員 民法四百五十二條ハ「債權者ガ保證人ニ債務ノ履行ヲ請求
---	---	---	---

シタルトキハ保證人ハ先ヅ主タル債務者ニ催告ヲ爲スベキ旨ヲ請求スルコトヲ得「トアリマス、四百五十三條ハ」債權者ガ前條ノ規定ニ從ヒ主タル債務者ニ催告ヲ爲シタル後ト雖モ保證人ガ主タル債務者ニ辨濟ノ資力アリテ且執行ノ容易ナルコトヲ證明シタルトキハ債權者ハ先ヅ主タル債務者ノ財産ニ付キ執行ヲ爲スコトヲ要ス」此四百五十三條ノ規定ハ、之ニハナイト云フコトヲ申上ゲテ居リマス

○原委員 サウシマスト結局執行ト云フヤウナ、サウ云フ具體的ノ規定ガナイダケデアリマシテ、少クトモ催告ヲ請求スルコトヲ得ト云フコトデスカラ、結局アツヘ先キニ請求シテ來イト云フコトガ言ヘルヂヤアリマセヌカ

○富田政府委員 御説ノ通りデアリマス

○原委員 サウスルト、アツチカラ請求シテ來イト云フコトガ、即チ檢索ノ内容ニナツテ來ルノデアリマス、檢索ノ抗辯ト云フモノハ、私ハ内容ハ別々ナモノデハナイト思フ、ソレデスカラ、結局オ前ハアツチヘ請求シテ來イト云フコトヲ言ウテ、私ノ言フノハ結局自分ノ方デハ請求ヲ受ケナイト云フコトデアル、唯催告ヲスルコトヲ得ト云フノデ、檢索ノ抗辯ガナイカラ、唯請求

スレバ宜イ、ソレデサウ一應言フダケデ、其儘責任ハ執ラヌノデアッタラ、茲ニ催告スルコトヲ得ト云フ規定ハナニナレバ、結局拂ハナケレバナラヌト云フコトニナッタラ、催告ヲ請求スルコトヲ得ト云フ必要ハナイ、デスカラ何所マデモ檢索ノ抗辯ト云フモノハ、催告ノ内容ナノデアル

○富田政府委員 拂ハヌ場合ハサウ云フ結果ニナラウト思ヒマス、普通ノ取引ニ於キマシテハ、一應請求シテ、サウシテ下請人ガ支拂ハナカッタ場合ニハ、元請人ニ請求ヲスルコト云フコトニ依ツテ、目的ガ達スルコトモアルデアラウ、裁判上ノ手續ナント云フコトヲ想像スレバ、ソレハサウ云フコトニナルト思ヒマス

○原委員 凡ソ裁判所ノ手續ノ問題ヲ離レテ、法律上最後ノ運用ガ出來ナイデハアリマセヌカ、問題ガ兩方ニ起ルカラ、斯ウ云フ規定ガ必要ニナツテ來ル最後ノ目的ヲ達スル爲ニ斯ウ云フ規定ノ必要ガアル、裁判所ノ問題ニナラヌナラ、斯ウ云フ規定ハ必要ガナイ、ダカラ最後ハ法ニ訴ヘテ強制執行ヲ求メルノデアル、下請人ガドンドン拂ッテ呉レバ問題ガナイ、行ツテモ拂ハリマセヌケレドモ、趣意ト致シマス所ハ、立法ノ趣旨ト致シテ居リマス所ハ、斯ノ如キ災害ノ起リマシタ場合

フコトニナルカラ、是ガ重大ニナツテ來ル、デアルカラ何處マデモサウ云フ御答辯デハイケマセヌカラ、モウ少シ正直ニ仰シヤツテ下サイ

○牧野委員 只今原委員ト政府委員トノ質問應答ノ内容ヲ承ツテ居リマス、立法ノ趣旨ガ昭和四年ノ際ニ提出サレタ場合ト、今回ノ場合ト違フト云フコトヲ、明瞭ニ仰シヤツテ下サルコトノ方ガ互ノ見解ガ明カニナルノヂヤナイカト思ヒマス、全然同ジト云フコトヲ仰セラレルガ、目的トスル所ガ同ジダト云フ御意思ト、立法ノ趣旨ガ同一カ否カト云フコトトハ違フト思フ、建前ヲ違ヘタ其結果ドウ云フコトニナルカト云フコトハ、是ハ別問題デアリマス、寧ロ此點ニ關シテハ、現内閣ト前内閣トハ立法ノ趣旨ガ違ツテ來タ、建前ガ違ツテ來タト云フ點ヲ、御説明下サルコトガ本當デハナイカト思フ、私ハ今質問應答ノ狀況ヲ聞イテ居リマシテ、ソコニ重大ナ相違ガアルノヂヤナサレテ御答辯ヲ願ヒタイ

○吉田政府委員 牧野サンノ御話ノ立法ノ趣旨ト云フコトハ、建前ト云フコトト、ドウ云フ關係ニアルノカ能ク承ハリマセヌケレドモ、趣意ト致シマス所ハ、立法ノ趣旨ト致シテ居リマス所ハ、斯ノ如キ災害ノ起リマシタ場合

ニ、簡易ニサウシテ確實ニ、勞働者ニ對シマシテ保障ノ出來ルヤウニト云フ點ヲ、考慮致シテ立案セラレテ居リマスコトハ、ソレニ狙ヒ所ガアリマスコトハ、趣旨ガ其處ニアリマスコトハ、今回ノ政府案モ前ノ案モ、是ハ同ジコトデアルト思フノデアリマス、數次ノ請負ノアリマス場合ニ、其各請負人ノ義務ト云フモノノ規定ノ仕方ハ、ソレハ申スマデモナク、條文ノ書キ方ノ異ルガ如クニ異ツテ居ルノデアリマス、前ノ場合ニ於キマシテハ、茲ニアル通り數次ノ請負ヲ爲ス場合ニ於テハ、各請負人トモ是ハ自分ノ請負ッタ仕事ニ付テ事業主デアアル、事業主ガ多勢アルト云フ建前ヲ取ツテ居ルノデアリマシテ、今回ノ案ニ於キマシテハ、事業主ハ元請負人ト確定致シテ居リマス、是ハヤハリ見様ノ違ヒト云フコトニナルカモ知レマセヌガ、各事業主ガ自分ノ請負ッタ事業ニ對シテ銘々事業主ダ、ドノ人間モ事業主トシテ扶助ノ責任ヲ帶ビルノダト云フ方ガ便利デアルト云フ、原サンノ方ノ見方モ無論ゴザイマセウ、私ソレヲ否定スルノデアリマセヌ、併ナガラ又ソレト異リマシテ、事業主ト云フモノヲ明確ニ取極メテ置クト云フ方ガ、人カラ仕事ヲ請負ツテ、金ヲ扶助スルト云フ請負ノ場合ニ於キマシテ、此方ガ權利關係ガ明確デアッ

テサウシテ扶助ノ責任ヲ果ス上ニ付テモ、簡易迅速ニヤルト云フ趣旨ニ適フダラウト云フ、今回ノ法案ノ見方モ、是亦誤デナイト思フノデアリマス、ソレデ今回ノ法案ノ見方ニ於キマシテハ、何人ガ事業主デアリ、何人ガ扶助責任者デアリカト云フコトヲ、出來ルダケ明瞭ニスル、斯ウ云フ建前デ以テ元請人ヲ以テ事業主ニスル、併ナガラ事實ノ勞働者ノ使用ノ關係ニナリマス、下請人ガ直接ニ勞働者ヲ使用スル場合ガ多イノデアリマスカラシテ、ソコデ左様ナ場合ニ於テハ、ドッチニデモ行ケルト云フコトデナクシテ、尙ホ又當初ノ趣旨ニ戻リマシテ、何人ガ責任ヲ帶ビルカト云フコトヲ明確ニスル意味ヲ以チマシテ、特ニ書面契約ニ依ッテ下請人ニ扶助ヲ引受ケシメルコトモ出來ル、是亦扶助ノ引受人ノ明確、ヲ期スル意味ニ於テ、左様ニ致シテ居ルノデアリマス、尙又其他ノ場合ニ於テ、第三項ノ規定ニ依リマシテ、元請人ガ扶助ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於キマシテハ、下請人ニ對シテ先ヅ催告スルト云フコトヲ、元請人ニ認メテ居リマスルコトハ、是モ責任ノ歸屬ヲ明カニシテアルノデアリマスカラ、催告ハ先ヅスベキデアルト云フ結末ヲ附ケマスルコトハ、是ハ亦極メテ至當ナノデアリマス、催告ヲ受ケマシテ下請人

ガ拂ハナイト云フ場合ニハ、ソレハヤハリ元請人ニモ請求シ得ルノデアリマス、下請人ニモ請求シ得ル、元請人ニモ請求シ得ル、催告ヲスルコトヲ求メルト云フコトニ依リマシテ、決シテ勞働者ガ扶助ヲ受ケルノニ不便ニナルト云フコトハナイト考ヘマス、左様ナ意味デ、各請負人ガ皆事業ニ付テ事業主トシテヤッテ行クノダト云フ、前回ノ法案ノ建前ト、今回ノ法案ノ建前トハ、事業主ト云フモノヲ一定スル、サウシテ下請ノアル際ニ於テハ、下請ト元請トノ間ノ關係ヲ明確ニスルト云フノニハ、ソレハ取扱方、考ヘ方ニ無論差異ハゴザイマスケレドモ、ドチラトシテモ其理由ハ付カスコトハアリマセヌ、本法ノ趣旨ト致シテ居リマスル所ハ、權利義務ノ關係ヲ明確ニスルト云フコトヲ主ニシテ居リマス、是ガ實際ノ扶助ノ場合ニ於テ、事實便利デアラウト云フ見地カラ、立案セラレテ居ル次第デアリマス

○牧野委員 只今吉田政府委員ヨリノ御答辯ヲ承リマシテ、立法ノ趣旨ガ前回ノモノト變ラナイト云フ御説明ハ、之ヲ諒承致シマス、私ハ今此處デ富田政府委員ノ御説明ヲ承ッテ見マシタ結果トシテ、立法ノ趣旨ガ違ッテ居ルノデヤナイカト云フコトヲ考ヘタノデ、御説明ヲ煩ハシタ、但シ只今吉田政府委員ノ御説明ヲ承リマス、立法ノ建前ガ違ッテ來テ居ルノデヤナイカト云フコトヲ思ハセラレタノデアリマス、事ノ是非ハ別トシテ、此點ヲ明カニシテ置ケバ、質問應答ノ其内容ガ明カニナルカト思ヒマスルノデ、重ネテ御伺致シマス、言ヒマスノハ、昭和四年ノ提出ノ法律案ハ、之ヲ請求者本位、權利者本位デ立案シタ、今回ノ立案ハ義務者本位カラ立案シタ、片方ハ權利者本位デアリマスカラ、連帶請求ヲ許シテアルガ、今回ハ義務者本位デアリマシテ、連帶ニサレテハ紛ハシイ、又ウテ先ヅ主タル義務者ヲ定メテ、次ニ第二、第三ノ義務者ヲ定メルノガ宜クハナイカ、ソレハ權利者ノ方ニ對シテ幾分ノ不利益ハアル、ケレドモ結局ハ前立法ノ趣旨トシテ、最後ノ利益ハ失ハナイノダト云フ、兩者ノ差異ヲ來スノデハナイカ、ソコデ問題ハ、弱イ勞働者ヲ保護スル場合ニ於テハ、連帶ノ規定ニシテ置ク方ガ宜イノデハナイカ、強キ場合ノ方ヲ主トシテ請求者トシテ行ク時ニハ、大ナル相違ハナイケレドモ、弱イ勞働者ヲ主トシテ行ク時ニハ、連帶ニスル方ガ宜イノデハナイカト云フノガ、原委員ノ質問ノ趣旨デアリマス、ソコデ政府ハイヤ下請ニ能力ノナイ場合ニハ、元請ヘ行キ得ルノダ

カラ、結局ハ同ジコトダ、結局ノ所デ言ハレルケレドモ、結局ノ議論デハナイ、ソコデ質問ノ要點ハ、要スルニ建前ガ違ッテ來タ、昭和四年ノ方ハ、何處マデモ請求者本位デ出來テ居ル、今度ノハ請求ヲ受ケル義務者本位デ立案サレテ居ル、義務者本位デ立案シタ方ガ、結局義務者ガ明確ニナッテ、サウシテ元請ヘモ請求ガ出來ルノダカラ、結局ノ所ニ於テ別段利益ハ剝奪ハシテ居ナイノダ、斯ウ云フ御説明ニナルノデハナイカト思ハレマスノデ、其趣旨ヲ明確ニシタイト云フ爲ニ、此私ノ質問ヲ致シマシタ次第デ、御答辯ヲ戴キマスレバ結構デアリマス

○吉田政府委員 義務者ヲ本位ニスル、或ハ請求者ヲ本位ニスルト云フヤウニ御説明ニナリマシタ、御説明ノ經過ヲ承ッテ居リマス、必ズシモサウデモナイヤウニ思フノデアリマスカ、此本位ト致シマスル所ハ、何處マデモ扶助責任ノ最モ簡易敏速ニ且確實行ハレマス方ガ本位デアルノデアリマス、請求者ヲ本位ニスル、義務者ヲ本位ニスルト云フコトデ、一寸ソレハ説明シ兼ねルカト思フノデアリマス、ソレガ爲ニハ義務者ガ明瞭デアルト云フコトガ、ヤハリ請求者本位タル所ノ實ヲ舉ゲル所以ニナルノデアリマシテ、連帶ノ場合ニ於キマシテモ、無

論内部關係ニ於キマシテハ、皆ニ負擔ノ義務ガアルト云フコトデハナクシテ、其ノ中ノ誰カ、經濟的ニハ負擔スルコトニ決マツテ居ルト考ヘネバナラヌノデアリマス、ソレカラ此法ニ於キマシテハ、負擔ヲスル人間ヲ法律ノ上デ明確ニシテアル、下請ノアル場合ト雖モ、ハッキリシタ書面ノ取決メノナイ場合ニ於キマシテハ、何時デモ元請人が責任ヲ持ツ、一切ノ責任ヲ元請人が背負込ム、是ハ先程富田政府委員カラモ言ハレマシタヤウニ、今回此種ノ事業ニ付キマシテハ保險ガアルト云フコトモ、無論一ツノ理由デアリマスガ、本法ノ建前ト申シマスカ、此土木ノ關係ニ付テ考ヘマスナラバ、是ハ責任保險ト此法律ト併セテ一體トナルト考ヘテモ宜イ位ニ密接ナ關係ガアルノデアリマス、其事ハヤハリ本法ヲ考ヘル上ニ於キマシテモ考慮ノ中ニ入レテ宜シイ、又入レナケレバナラスコト、考ヘルノデアリマス、ソコデ元請人が責任ヲ負フ、併ナガラ明確ナ取決メノアリマスル場合、其元請ト或ル一人ノ下請トノ間ニ明確ナ取決メノアリマス場合ニハ、ソレハ其下請ニモ扶助責任ヲ負フ意味ノ事業主トスルト云フコトニ致シマシテ、少シモ權利關係ノ明確ヲ損ハナイノデアリマス、ソコデ實際ニ勞働者ヲ使ッテ居ル下請ニ對シテ、ヤ

ハリ事業主トシテノ資格ヲ認メル、サウシテハハ明確ニ當事者ノ間デサウ云フコトニ取決メタノデアリマスカラ、催告ト云フコトモ起ッテ來ル、催告ヲ受ケテ尙ホ拂ハナイ、拂フ義務ガアルノデアリマスケレドモ、尙ホ拂ハナイト云フ時ニ、ソレナリテ請求者ガ退却シテシマハネバナラスト云フコトニナラス爲ニ、ヤハリソレハ元請人ニモ責任ヲ免除スルト云フコトニハナツテ居ラスト云フ意味デ、牧野サンノ言ハレマス所謂事業主本位ト云フコトデヤッテ居ルノデハゴザイマセヌ、支拂ヲスル人間本位ト云フコトデヤッテ居ルノデハゴザイマセヌ、此立案ノ趣旨ハ、只今ノヤウニ最も簡易ニ明確ニ當事者ヲ明カニシテ置キマシテ、又請求者ガドツチニ行ッテ宜イカ適從スル所ヲ知ラナイト云フヤウナ不便ヲ救ハウト云フコトガ、主眼ニナツテ居ルノデアリマ

サレルト云フ問題ニナツテ來タノデハナイカト思ヒマス、唯前段ニ於キマシテ、原委員ト政府トノ質問應答ヲ承ッテ居リマシテ、私ノ感ジマシタ點ハ、元請人、或ハ直接勞働者ヲ使ッテ居ル人間、此二人ガ明確ニ責任ヲ明カニスルト云フコトハ、政府ノ趣旨ガ宜イカト思フノデアリマス、ト申シマスノハ、ヤハリ五人モ六人モガ連帶責任ニナツテ居ルト云フ場合ニハ、勢ヒ義務觀念ガ薄弱ニナツテ來ル、サウ云フ所デハ兎角話ヲスルノニ纏リガ遅イト云フコトガアリ得ルト思フノデアリマスカラ、私ハ此點ニ於テハ、元請人ト直接勞働者ヲ使ッテ居ル者トノ間ニ、責任ヲ明カニシテ置クコトガ宜イカト思フノデアリマスガ、唯其點ニ於テ原委員ガ贊成出來ナイト云フ所以ノモノハ、恐ラク此第三項ニアル下請負ニ對シテ、先ヅ催告スベキ旨ヲ請求スルコトガ出來ルト云フ此言葉ハ、連帶責任ト云フ觀念ヲ打壞シテ居ル、是ハ政府ノ言フ所ハ、ドウモ私共諒解出來スノデアリマスガ、此元請人ト、下請人トノ關係ハ、請求者タル勞働者ニ取ッテハ關係ガナイコトデアリマシテ、ソレハ元請人ト下請人トダケノ關係デアリマス、デアリマスカラ、若シ吾

吾ガ下請人ニ請求ニ行キ、下請人ガ困ル、或ハソコデ金ガ貰ヘサウデナカッタ場合ニ元請人ノ所ニ請求ニ行ッタ場合ニ、此條文ガ示スヤウニ、先ヅ下請人ノ方ニ行ッテ呉レト云フノデナクシテ、下請人ガ拂フコトニナツテ居ルガ、拂ハヌナラバ自分ノ方ニ責任ガアルカラ拂フガ、一應下請人ニ聞イテ見マスカラ、三日待ッテ呉レ、四日待ッテ呉レト云フ、サウ云フコトガ出來マスナラバ、此問題ハ原委員ト政府ノ意見ノ相違スル點ガ一致スルノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、ドウモ結局此第三條ニ於テ問題ニナルノハ、下請人ノ所ヘ行ッテ、モウ一遍話ヲシテ來イト言ッテ突キ返スノデナクシテ、自分ノ方ニ責任ガアルノダカラ拂フガ、併シ下請人ガ拂フコトニナツテ居ルノデアリカラ、一應聞イテ見ルカラ三日待ッテ呉レ、四日待ッテ呉レト云フ精神ヲ、此法文ノ中ニ取入レルコトガ必要デヤナカラウカト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○吉田政府委員 數人ノ請負ノアリマス場合ニ、之ニ對シマシテ何人ヲ責任者トスルカト云フコトハ、是ハ前ノ政府案ガ出來マシタ最初カラ、私ハ相談ニ與ッテ居リマシテ、隨分色々意見ガ立チ得ルノデアリマシテ、可ナリ困難ナ問題デアリマス、隨テソレニ對シテ色々ナ手段ヲ考慮シ得ル餘地ハ無論アルノデアリマスガ、勞働者ノ方カラ

申シマス、一番直接致シテ居リマスモノハ下請負人デアル、何カ事故ガ起ツタ時ニハ、直グニ下請負人デアル親方ノ所へ持込シテ解決シテ貰フト云フノガ、一番手取り早イコトデアリマス、隨テ扶助責任ト云フコトニ付キマシテモ、其勞働者ニ直接シテ居ルト云フ關係カラ致シマス、寧ロ元請負人ヨリハ下請負人ノ方ヘ勞働者ハ行キ易イノデアリマス、所ガ資力ノ點、又其資力ノ本ニナリマスル工事全體ニ對スル支配權ト云フモノハ、元請負人ニアルノデアリマス、其間ヲ如何ニ巧ミニ調節スルカト云フコトガ、立法ノ技術トシテ殘サレル所デアリマシテ、決シテ只今ノ御話ノヤウニ、元請負人ノ所ヘ勞働者ガ來テ、サウシテ下請負人ニ貰ッタル宜イデヤナイカト云フコトハ、不自然ナコトデハナイノデアリマス、併ナガラソレガ契約ニ於テ明確ニシテ居ラスト云フ場合ニ於キマシテハ、元請負人ト云フモノガ、此法ニアリマス通リ大體皆責任ヲ取ルト云フ建前ノ下ニ於テ、契約ニ明確ニサレテ居ル場合、催告ノ義務ヲ下請負人ニ負ハセルト云フコトハ、ソレハ無理デアリマセウガ、事柄ガ明瞭ニナッテ居ル、而モ勞働者ノ密接シテ居ル下請負人ノ所ニ行ッテ貰ッテ來イト云フコトハ勞働者ニ取ッテ考ヘテ見ルト、無理トハ感ジラレナイト

思フノデアリマス、而モ其場合ニ於キマシテハ、下請負人ト勞働者トノ間ニチャント契約ガ取交ハシテアルノデアリマセウカラ、下請負人ガ多ク拂フデアリマセウ、拂ハナイト云フコトハ、元請負人ニ對スル義務違反ニナルノデアリマスカラ、内部ニ於キマシテ、又金ノ遣リ取りヲシテ解決ヲ付ケネバナラスト云フ問題ヲ、後ニ殘スノデアリマスカラ、多ク拂フコトト思フノデアリマス、決シテ下請負人ニ行ッテ貰ッテ來イト云フコトハ、是ハ勞働者ノ爲ニ不利益ニナルト私共ハ考ヘテ居ナイノデアリマス

○西尾委員 此元請負人ト下請負人トノ兩方ニ責任ヲ持タスヤウニ致シタコトハ、主トシテ土木事業ニ斯ウ云フコトヲ致シマシタ根本ノ理由ハ、下請負人ガ屢々資力薄弱ノ爲ニ扶助ノ義務ヲ果タスコトガ不可能ナ場合ガ多イト云フコトノ爲ニ、元請負人ニ重大ナ責任ヲ負ハスコトニナッテ居ルノデアリマセウ、一應ハ下請負人ノ所ヘ行キマス、實際ハサウナリマスケレドモ、今ハ金ガナイトカ何トカカントカ言ッテ面倒ナ場合ニ、元請負人ノ所ヘ行ク、其場合ニ元請負人ハ、先ヅ兎ニ角一應ハ下請負人ノ所ヘ行ッテ來イト云フコトガ出來ルヤウニ、此法文デハナッテ居ルノデアリマスガ、ソレデハ時日ヲ遷延

スルコトニナル、ソコデ私ハ此下請負人ト元請人トハ、ドチラモ事業主トシテノ義務ガアル、ソレヲ下請負ヨリ元請負人ニ行ク場合ガアル、元請負人ニ土地ノ關係上勞働者ガ旅費ヲ使ッテ遠イ所ヘ行クコトガ出來マセウカラ、便宜上元請負人ノ方ヘ行ッタ方ガ地理的ノ關係ニ於テ宜イト云フ場合ニハ、先ヅ下請負人ノ方ヘ行クコト云フ權利ヲ法文デ明カニ認メルコトハ、ソレハ下請負人ト元請負人トノ間ノ關係デアッテ、勞働者ニ對シテハ、サウ云フ關係ヲ明瞭ニシナイ方ガ宜イノデハナイカト云フ意味ナノデアリマス

○吉田政府委員 只今例ニ御舉ゲニナリマシタ如ク、最初ニ下請負人ニ對シマシテ請求シタ場合ニ、下請負人ガ拂ハナイト云フト、元請負人ニ參リマス、其時ニ元請負人ハ催告スベキコトヲ請求スルコトハ出來ナイノデアリマス、先ヅ下請負人ニ請求シテ居ルノデアリマスカラ、若シ多クノ場合ニ於テ、扶助ヲ受クベキ勞働者ガ下請負人ニ對シテ請求スルノガ普通デアルト致シマセウナラバ、其場合ニハ下請負人ノ拂ハナイ時ニ、直グ元請負人ニ請求出來ルノデアリマスカラ、丁度御期待ニナリマス趣意ニ、此三項ト云フモノハ副ウテ居ルト云フ結果ニナルト思フノデアリマス

○西尾委員 元請負人ニ直グ行ク場合モ、土地ノ關係デアリ得ルノデアリマス

○吉田政府委員 元請負人ニ直グ參リマス云フ場合ニ於テ、マダ下請負人ニ請求シテ居リマセウシテ、尙且元請負人ト下請負人トノ間ニ於テ、書面ニ依ッテ義務者ガ誰デアルト云フ取り極メヲシテ居ル場合ニ於キマシテハ、元請人ガ下請人ニ一應請求シロト云フコトハ言ヒ得ルノデアリマス、初メカラ下請ニ行ッタ場合ハ、三項ハ適用ニナリマセウ、隨テ勞働者ノ利益ヲ、斯様ナ建前デ規定スルコトヲ無視シテ居ルノデナクシテ、普通ノ下請ト勞働者ノ間ノ關係ヲ頭ノ中ニ置キマシテ、實情ニ即スル意味デ、法律論ノ上カラダケデナク、下請、元請ト云フコトノ實際ノ狀況ヲ能ク察知致シマシテ、ソレニ順應スルヤウニ、最モ請負人ノ爲ニモ、勞働者ノ爲ニモ便利ト云フコトヲ主眼ニ致シマシテ、立案致シテアル次第ナノデアリマス

○西尾委員 私ハ此程度デ止メテ置キマス

○山邊委員長 ソレデハ本日ハ此程度ニ於キマシテ散會致シマス、次回ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス

午後零時二十一分散會